

第2回 八代市定住自立圏共生ビジョン懇談会委員からの意見対応表

	委員からの意見・提案等	懇談会における回答
1	共生ビジョンの期間は、策定後5年。例えば、薩摩川内の原発について、その地域の方がこちらに来られることもあるのではないか。八代地域は暮らしやすいので、こちらに来られることも想定する必要がある。先を見越した作成、地域を広げて考えていって欲しい。	圏域の要件については、定住自立圏推進要綱で定めてあり、まずは本市との結びつきが強い氷川町と進めているところであり、今後は芦北町との協議も進めていく。
2	現在、氷川と八代に企業からの観光施設などの話は出てきてないのか。例えば大きなレジャー施設の話など。	現在、具体的な話はない。しかしながら、昨年度から八代港にクルーズ客船が多く寄港しており、外国人観光客へのお土産購入が可能な施設を作りたいとの話があっている。今後、そのような施設ができた際には、特産品や加工品などについて、皆さんからのご協力もお願いしたい。
3	「地域活動支援センター事業」について、地域生活支援事業という位置づけの中で、市町村が地域性を活かして行っている内容などで今回の位置づけになっているかと思う。取組内容の「事業所」は取組効果では「社会資源」ということであるが、これは社会福祉サービスを提供する事業所ということと理解して良いか。	当事業における「社会資源」としている事業所はサービス提供事業所のことである。
4	児童の発達支援を行う事業所が市内にも出来ているが児童の数が増えており、どこの事業所も満杯である。市町がタッグを組んで、事業所の不足等の課題について具体的にネットワークを構築し課題を考えていく場があると良い。発達療育が必要な方の受入枠がないなどの課題を市町でのネットワークや社会資源を活用し解決できればと思う。	八代市：提供するサービス不足の課題については、今後整備に向けて取り組んでいく必要がある。 氷川町：お尋ねの市町のネットワークの構築は、現状は事業所頼みである。今後の課題と考えている。
5	「在宅医療・介護の連携事業」について、地域包括ケアシステムがあるが、医療・介護・介護予防・住まい・生活支援を一体的、包括的に色んな職種が連携して行うもので、昨夜、市町、市郡医師会での合意形成がなされたところ。生活支援、住まいについては、各部署へとの連携も必要。運転ができない方への支援なども。今後、横断的に知恵を出していただくようお願いしたい。	昨日の合意形成は、医療と介護の連携。生活支援については介護保険制度の中で平成28年度からの事業実施に向けて検討を進めている。住まい、移動支援などは、将来的に関係部署と連携し取り組んで参りたい。
6	3 OP都市機能の集積状況（7）消防・防災施設等の施設において、本ビジョンの期間が31年度までとのこと。現在、広域消防で氷川分署を進めており、運用が平成30年4月からである。氷川町の欄に括弧書きで、（仮称）氷川分署の記載をお願いしたい。	共生ビジョンは、毎年必要な見直しを行う予定であり、運用が始まったら記載したい。